



# 平成30年6月 報告内容

とっとりのまちなか暮らし  
(まちなか居住モニター報告)



# 物件探しとまちなか暮らしのはじまり ～自己紹介にかえて～

我が家は転勤族です。2014年に夫婦で鳥取に来て、このまちに長く住みたいとすぐに物件探しをはじめました。

まちなかの空き家を改修して住むことが地域のためになるならと、マンションではなく中古一戸建てを探しはじめたものの・・・全く見つかりません。不動産のホームページを毎日チェックし、気になる物件があればすぐに電話しても、いつも2番手、3番手。何だかんだ言って、鳥取のまちなかに住みたい人はたくさんいるんです。

物件を探しはじめて4年目となる今年、久松山を臨む一軒と巡り合うことができました。結局、地元の人たちと仲良くなったことで、口コミで繋いでもらった物件です。これだけインターネットやSNSの情報が溢れる時代でも、まちの情報が一番早くて信頼できるなんて。この繋がりが鳥取の一番大きな魅力だと思っています。これからはじまる暮らしが楽しみです。



(我が家からの眺め。まちなか暮らしでも毎日こんなに広い空を見上げられます。)

# まちなかで即興パフォーマンス！？ 「鳥取夏至祭」 について

6月22～24日に開催された「鳥取夏至祭」では、県内外から集まった音楽家やダンサーなど約30人が鳥取のまちなかで即興のパフォーマンスを披露しました。駅前の日曜朝市「いなばのお袋市」にも乱入！さまざまな楽器を手に演奏する人、その場にいた子どもが被っていた帽子を使って踊る人、ひとりで詩を読んでいる人もいて、どこからどこまでが演者で観客なのか、曖昧でごちゃ混ぜな感じがおもしろかったです。路上には一瞬で人だかりができ、まちに新しい風景をうみましました。



(鳥取駅前サンロードで突然はじまったパフォーマンス。買い物客が驚いて見物の輪をつくっていました。)

## 愛しかない！手作りしゃんしゃんグッズ について

鳥取駅前サンロードにあるgallery shop SORA。この夏の日玉は、鳥取人にはお馴染みの“しゃんしゃん傘”をモチーフにしたハンドメイドグッズです。東部在住の4人の作家が作った、ビーズや因州和紙のアクセサリー、印鑑ケース、折り紙やシールなどが並んでいます。しゃんしゃん傘のデザインと色をそれぞれに再構築して仕上げた作品で、ここにしかない鳥取愛が溢れた逸品です。私はあれこれ迷ってビーズのブローチを購入させてもらいました。8月のお盆の時期まで、完成した作品から順に店頭に出揃うそうです。



(赤、青、黄色、白、ポップで可愛い手づくりしゃんしゃんグッズ！)

# 自己紹介と駅前飲み歩きについて

こんにちは！はじめまして…モリモトと申します。この度、中心市街地モニターになりました。兵庫県の神戸市出身、鳥取大学で農学を学び新卒で鳥取のIT企業の人事担当になった変わり種です。以後お見知りおきを。

さて、飲み歩き食べ歩きが趣味な人間にとっては鳥取駅前の中心市街地は非常に暮らし良いところですよ。なんとと言っても橋を渡ればすぐに飲み屋街なんだもの！さて今日はどこに行こうか…駅前のアーケードを歩きながら考えるのが金曜日の日課です。



# ももちゃんラーメンについて

少し前の話だけれども、サイゼリヤ飲みというのが流行っていたらしい。都会で流行の安くて上手いコスパ抜群の飲み方だそう。ところで、鳥取にはサイゼリヤなるファミレスはないが“ももちゃんラーメン”がある。24h営業ではないが26時までやってる飲み屋街の味方。餃子は3種類から選べるし（塩は裏メニュー）、瓶ビールとラーメンで気持ちよく満足できる。だがしかし、女子一人でカウンター席は少しばかり目立つかもしれない。美味しいからいいんだけど。ああ、ラーメン屋飲み流行らないかなあ…。



# 最近オープンしたおくだいら商店について

駅前に最近若者受けするお店が相次いでオープンしているような気がする…今日は“おくだいら商店”に行ってみた。スタンディングバー形式（要は立ち飲み）で店内は極狭という面白いお店。福岡から移住してきた店主のおくだいら氏と顔を突き合わせて雑談したり、ドリンクをバケツリレー手渡しして他のお客さんとの交流が生まれたり、と店のサイズ感が人との距離を縮めるのに一役担っているのかもしれない。店前の椅子に座って駅前を眺めながらビールを<sup>あおる</sup>呷ると、鳥取の街と一緒に呑んでる…気がしてくる。



とっとり  
まちなか  
モニター

H30.6  
報告3